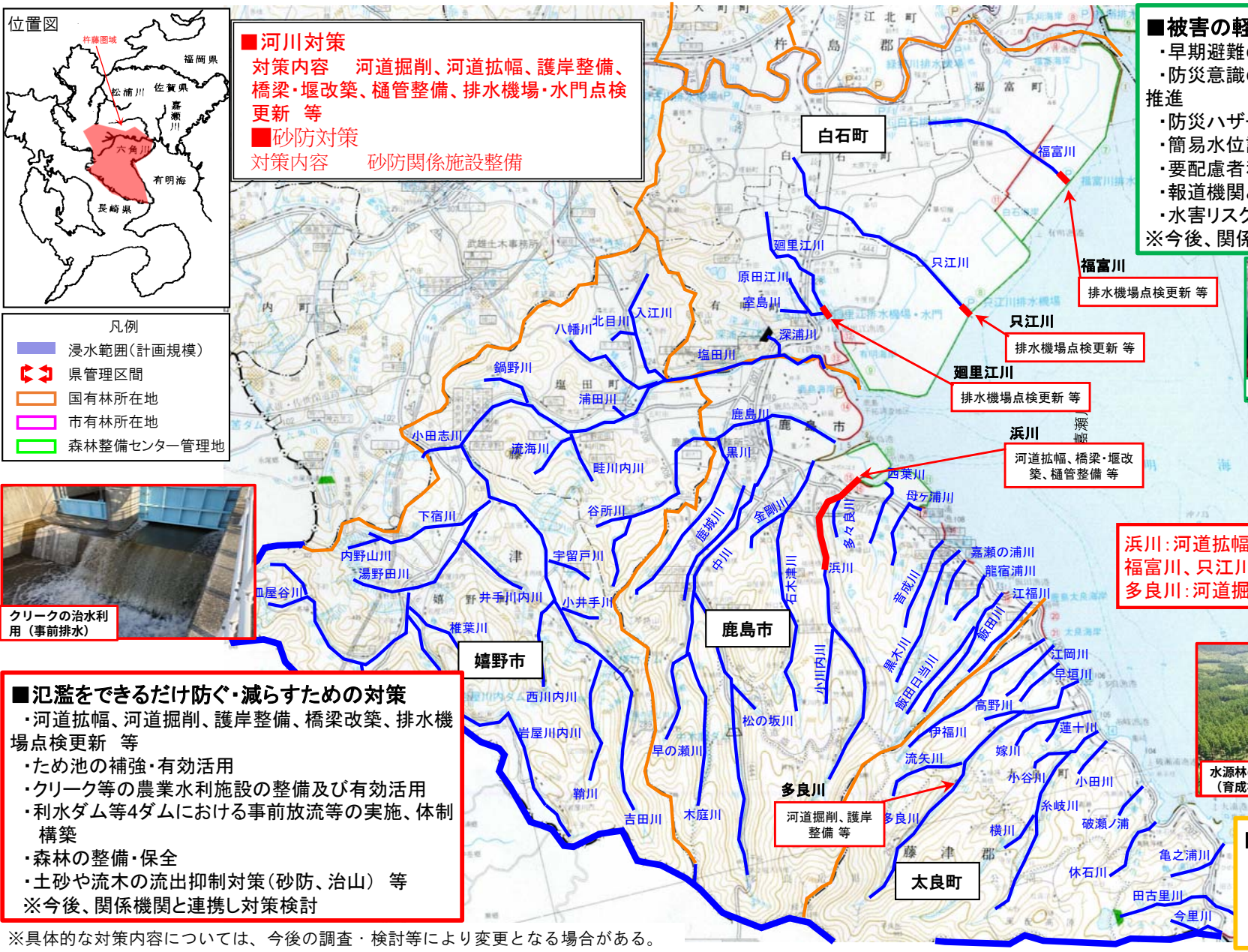
杵藤圏域　二級水系流域治水プロジェクト【イメージ】

～ハード・ソフト一体となった事前防災対策の加速化～

資料４

○ 令和元年佐賀豪雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進する。



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化

・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進

・防災ハザードマップ・ため池ハザードマップの作成

・簡易水位計、監視カメラの設置・整備

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の促進

・報道機関と連携した情報発信の強化

・水害リスク情報の拡充　等

※今後、関係機関と連携し対策検討

避難訓練

ハザードマップ

クリークの治水利用（事前排水）

浜川：河道拡幅、橋梁・堰改築、樋管整備、排水機場点検更新　等

福富川、只江川、廻里江川：排水機場点検・更新　等

多良川：河道掘削、護岸整備　等

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・河道拡幅、河道掘削、護岸整備、橋梁改築、排水機場点検更新　等

・ため池の補強・有効活用

・クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用

・利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築

・森林の整備・保全

・土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山）　等

※今後、関係機関と連携し対策検討

水源林の整備（育成複層林）

貯留施設

■被害対象を減少させるための対策

・一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け

・立地適正化計画の推進

・不動産取引時の水害リスク情報提供

・排水機場等の耐水化　等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。